

のこす・つなく・まもる 里地里山シンポジウム

平成20年2月22日(金) 13:30~17:00

東京農業大学世田谷キャンパス メディアホール
(1号館4階)



里地里山は、人が自然に働きかけて生まれた空間です。人々は、里地里山から薪などのエネルギーや建材などの素材、食料などを手に入れ、同時にたくさんの生きものが生息できる共生の場を守ってきました。日本人の原風景をなし、心のゆたかさを育んだ里地里山が、今、全国各地で荒れています。それともなって日本の生物多様性がそこなわれ、土砂災害や農業への鳥獣被害なども起きています。本シンポジウムでは、ボランティアの参加や地域の合意形成、資源の利用など、里地里山を保全再生するための具体的な方法を考えます。



特別ゲスト
宗次郎

のこす・つなぐ・まもる里地里山シンポジウム

平成20年2月22日(金) 13:30~17:00



里地里山づくりを行っている人と里地里山で活動したいと考えている人が出会うシンポジウムです。

プログラム

開場13:00 開会13:30

特別ゲスト「オカリナの演奏とトーク」 宗次郎

講演

「川場村にふるさとをつくろう」 宮林茂幸(東京農業大学教授)

「表丹沢の里地里山をみんなで守る」 高橋生志雄(神奈川県秦野市)

「トキと人との共生をめざして」 臼杵春三(トキの野生復帰連絡協議会)

「古瀬の自然と歴史を守る会のとりのくみ」 小菅新一(古瀬の自然と文化を守る会)

パネルディスカッション

コーディネーター 進士五十八(東京農業大学教授)

パネリスト 宗次郎 宮林茂幸 臼杵春三 環境省



宗次郎

陶製の笛オカリナの第一人者。
群馬県館林市の出身。

1975年、生まれて初めて聞くオカリナの音色、響きに魅せられる。その年から、自分の目指した音のために本格的にオカリナ作りを始め、1985年までの10年間に約一万個のオカリナを作る。その中から自分の曲にあう、自分だけの音を求めて選りすぐった10数個のオカリナを使って、現在も演奏を行っている。1985年にレコードデビューし、1986年のNHK特集「大黄河」の音楽で一躍脚光を浴び、人気アーティストとしての地位を得る。毎年オリジナル・アルバムをリリースし、数えきれない程のコンサートやイベントを実施。1993年には、アルバム『木道』『風人』『水心』の3部作で、第35回日本レコード大賞<企画賞>を受賞。最新アルバムは『土の笛のアヴェ・マリア』。常に自然や土との関わりの中で、コンサート、作曲、創作活動を続けたいと考え、土とのふれ合いを大切にしている。そんな大自然に根差した宗次郎のオカリナは、世代や国境を越えて多くの人の共感と高い評価を得ている。 <http://sojiro.net/>



進士五十八

東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授
主要著書：「都市、緑と農 「農」が担う地球の将来」(東京農業大学出版会)、「ルーラル・ランドスケープ・デザインの手法 農に学ぶ都市環境づくり」(学芸出版社)、「造園を読むーランドスケープの四季」(彰国社)、「公園作りを考える」(技報堂出版)、「風景デザイン 感性とボランティアのまちづくり」(学芸出版社)、「アメニティ・デザイン」(学芸出版社)



宮林茂幸

東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科教授
主要著書：「森林レクリエーションとむらおこし・やまづくり」(全国林業普及協会)、「森林教育のすすめ方」(全国林業普及協会・共著)、「森林・林業教育ー実践ガイドー」(全国林業普及協会・共著)、「みどりの環境デザイン」(東京農業大学出版会・共著)

参加方法

参加費無料。

先着申込制です。定員になりましたら締め切らせていただくことがあります。

電話、FAX、電子メールでお申し込みください。

お名前、参加者数、連絡先(電話、FAX、電子メールのいずれか)をお知らせください。

ホームページからも参加申し込みができます。

里ナビ <http://www.satonavi.go.jp>

お問い合わせ・受付先

財団法人水と緑の惑星保全機構・里地ネットワーク事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2 3F

TEL 03-5404-4846 FAX 03-5404-4847

E-mail h20@satonavi.go.jp

会場への交通 東京農業大学 東京都世田谷区桜丘1-1-1

小田急線 経堂駅下車徒歩15分

小田急線千歳船橋駅下車バス5分(農大前)

東急田園都市線用賀駅下車バス10分(農大前)

お名前		参加人数	人
ご連絡先	電話・FAX・E-mail (いずれかに丸をつけ、下にご記入ください)		